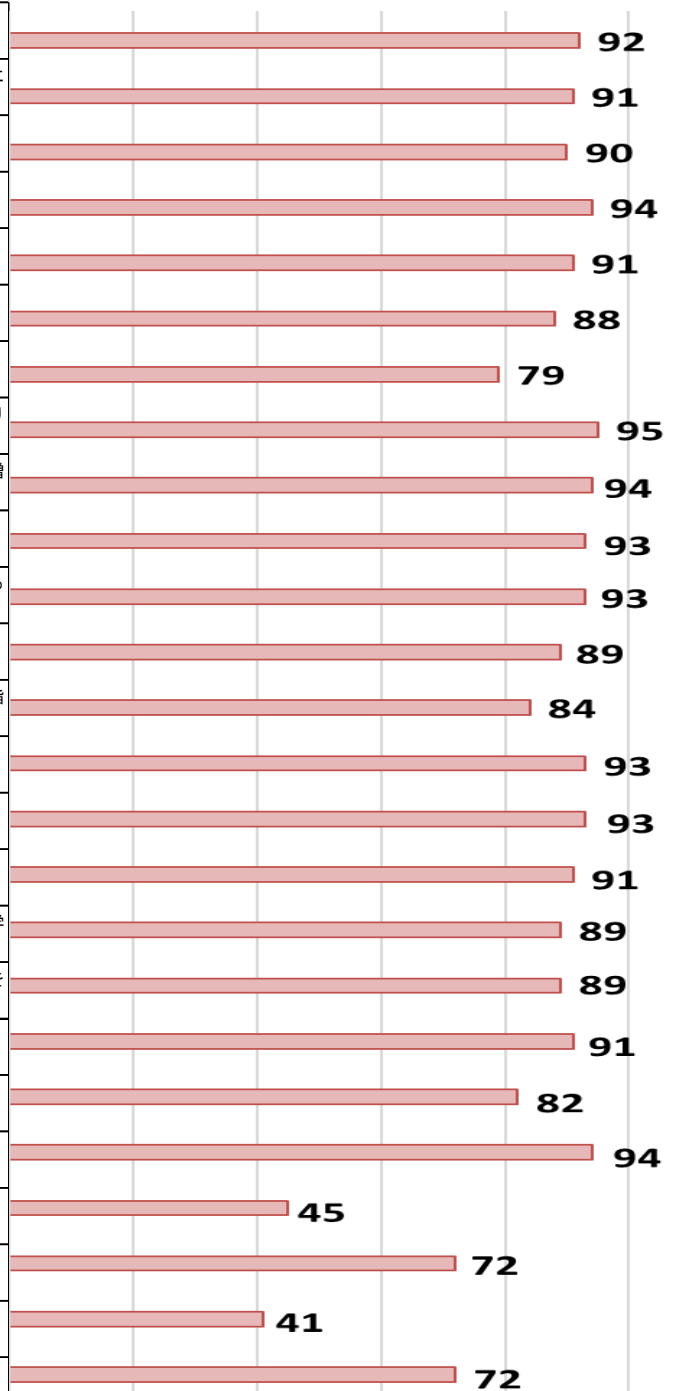


令和7年度 学校評価アンケート（保護者）

肯定率

大いに当てはまる・当てはまる

＜保護者学校評価アンケート集計結果及び考察＞	
1	学校は、一人一人が分かる喜び、共に学ぶ喜びを実感できる授業を行っている。
2	学校は、教科等の指導においてアナログとデジタルそれぞれのよさを適切に生かした授業改善に取り組んでいる。
3	学校は、児童の学力や体力の状況を把握し、それらの充実に向け指導を行っている。
4	学校は、地域に根差した教育を行い、郷土を大切に思う児童の育成に努めている。
5	学校は、人権・同和教育の視点に立ち、いじめや差別を許さない意識や態度を育てている。
6	学校は、児童の実態に応じた適切な指導や支援を行っている。
7	学校は、将来に夢をもち、自分の進路や生き方について考える児童を育てている。
8	学校は、児童の交通安全やけが等の防止について適切な指導を行うとともに、安全な環境づくりに努めている。
9	学校は、個々の健康状態を確認するとともに環境衛生の維持・改善を行い、児童の健康保持・増進に努めている。
10	学校は、換気や手指衛生など、基本的な感染症対策を行っている。
11	学校は、特別支援教育の視点をもって教育活動に取り組み、個に応じた配慮や指導を適切に行っている。
12	学校は、管理職や学年主任等を中心とした組織的な対応を行っている。
13	学校は、子どもたち一人一人が分かる授業づくりや様々な教育課題への対応のため、積極的に指導方法の工夫・改善に取り組んでいる。
14	学校は、教育活動の充実に向け地域や保護者と連携・協力している。
15	学校は、学年だよりやホームページ等により、積極的に情報を発信している。
16	学校は、言語活動の充実及び展掲示の工夫等の環境整備に努めている。
17	学校は、小1プロブレムや中1ギャップの解消につなげるために関係園・校で連携し、児童の学校生活に対する不安感の軽減を図っている。
18	学校は、関係園・校で連携して児童への理解を促進するとともに、系統性を重視した学習指導を行っている。
19	お子さんは、学校に楽しく通っている。
20	お子さんは、家庭や地域で挨拶ができる子に育っている。
21	お子さんは、友達を思いやり、仲良く活動できている。
22	お子さんは、家庭学習の習慣が身に付いている。
23	お子さんは、学年に応じた基本的な学力が身に付いている。
24	お子さんは、読書に親しんでいる。
25	お子さんは、家の手伝いや仕事ができる子に育っている。



＜アンケート結果について＞

教育目標「正しく 仲よく 根気よく 伸びる堀江っ子の育成」の具現化を目指し、学校行事や各教科の学習等では、体験的で協働的な学びを増やすことによって、昨年度同様、高い評価を維持できています。また、安全な環境づくりでは、2ポイント以上向上しているとの評価をいただきうれしく思います。今年度は小中連携教育事業研究の最終年度でもあり、項目 17、18 で小学校と中学校の連携についてが3、4ポイント以上向上していることが成果として挙げられます。一方で「家庭学習の習慣化」や「読書」についてはあまり改善が見られず、学校として今後も工夫して取り組んでいかなければならない課題です。

＜自由記述について＞

教職員の指導に関わる項目については、子どもへの適切な指導について多くの感謝の言葉をいただきました。しかし、一部には教職員の寄り添う姿勢や個々の児童への対応などの向上を期待する内容がありました。組織として教育指導の適切な在り方について積極的に改善を図りより良い学校づくりに努めてまいります。また、「学校のきまり」についても見直しが必要ではという意見もあり、検討課題としています。

アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。